

2学期新役員認証式



3学年級長 永井一ノ輔さん
副級長 東 洋 希さん



2学年級長 本 原 怜さん
副級長 山之内陽咲さん



1学年級長 伊 谷 和 樹さん
副級長 義元あやねさん

2学期の学級役員を紹介します。今学期は最も行事が多い学期なのですが、早速9月の体育祭等延期・縮小という状況です。コロナ禍の困難に負けず、各学級をリードするリーダーとして、学級一丸となってたくさんのことにチャレンジしていきましょう。



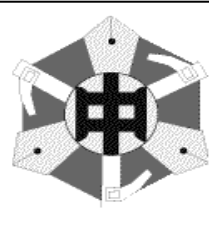
ロッカーを移動



2学期 9 月の授業参観を中止とさせていただきます。学校の様子をご案内できず申し訳ございません。夏休み中に教室内の黒板を右側へ、ロッカーを廊下に移しました。手狭な感はありませんが、来年の生徒数増加を見据えた拡張工事の一環です。ロッカー移動に伴い、今後2階に安全扉を設置する予定です。

発行

9月 第12号
船浦中学校
校長 宮城裕子



堆肥の寄贈



(株)沖縄土木 当山喜一郎 様；本校 当山哲郎先生の実父) より

8月30日に堆肥(世美がえり 50袋)の寄贈がありました。

これからの季節、花いっぱい楽しめる学校をめざします!! 船中に色とりどりの花を育てましょう。ありがとうございます。

フлакポット生産中

こちらのチャレンジビジネスも大詰めを迎えています。いよいよ販売へ向けて動き出します。お気に入りのフлакポットをお求めください。

販売網を模索中、追ってご案内しま〜す!!



9月15日に第6回スピーチ集会がありました。以下2名のスピーチ原稿です。ご一読ください。

千代乃さん

スピーチ集会

「嫌いだった兄」

侑音さん

「ケガ」

皆さんは、ねんざをしたことがありますか？

私は、7月中旬バスケの練習中、怪我をしてしまい、翌日診療所に行き、ねんざだと診断されました。私ははじめてのけがで、死ぬほど痛かったです。痛みが引かなかったので、3週間後に、ヒデ整形に行くと、靱帯損傷と、診断されとても驚きました。もう、バスケができないと思い、怖くなりました。

怖さは、ありましたが私は向き合うことにしました。

そこで私は、怪我が治るまで、自分のできることをしようと思い、タイマーやブザーの準備をしたり、練習中のTOをすることを積極的に行いました。船浦中のタイマーを触ったことがなかったので、最初は使い方が分かりませんでした。が、だんだんやっていくうちに、タイマーのブザーを鳴らしたりと、使いこなせるようになりました。

初めてできるようになったこともありましたが、捻挫をして、困ったことも2つあります。それは、アイシングの方法や、診療所やヒデ整形クリニックでもらった、包帯の巻き方などです。最初の頃は、試行錯誤試してましたがうまくいきませんでした。私がやってた方法は、アイシングをするとき、氷水で冷やして手ぬぐいでまいていたのですが、足首だったので、歩くときにすぐほどけてしまいます。なので次に、ホワイトテープを巻いてみましたが、またまたホワイトテープも、汚れてすぐ、外れてしまいました。そこからは、悩みに悩み、いい巻き方を思いつきました。それは診療所でもらった、包帯を使ってみたことです。包帯だとホワイトテープもはがれにくいし、しっかり固定されるので、このほうがとても、いいと思います。

最後に、アイシングの仕方が、分からない人たちもいると思うので、ここで実践したいと思います。

お知らせ もう一人第6回スピーチ発表者の柳

橋 琉成さん…タイトル「可能しかない」(スライド有り)は紙面の都合により次回お届けいたします。申し訳ございません。今回初のプレゼンによるスピーチでした。色々チャレンジしてみるのも良いと思います。スピーチ原稿&スライドを楽しみにしててください。9月は学校行事の延期等が続きましたが、体育祭に変わるスポーツフェスを10月開催します。また、三の西表島横断がいよいよ一ヶ月半に迫ってきました。体力作りにはげみましょう！！！！

皆さんに兄弟はいますか？僕には3つ上の兄がいます。しかし皆さんが想像しているような優しい兄ではありません。僕は、中学校に入るまで、つまり、兄が島立ちするまでは兄のことが大嫌いでした。なぜなら、兄が家にいる時はずっと喧嘩ばかりしていたからです。目を合わせれば睨みつけたりもうほんとに仲が悪かったです。なぜ喧嘩ばかりしていたのかは僕にもわかりません。

はじめに、僕と兄の性格についてお話します。僕と兄の性格は正反対です。兄はとても器用で頭が良くて、勉強に関しては何も言うことなし、運動に関してもまあまあ良い方です。性格は、無愛想で無口、必要なこと以外喋らないし、ほとんど笑いもしません。それに対して僕は、不器用で頭もそんなに良い方ではなく運動も人並みにしかできません。性格は、兄よりは明るく、家では常に音楽を口ずさんでいたりしています。その正反対の性格のせいか、馬が合うことはほとんどありませんでした。しかし、兄は高校に行ってからとても優しくなり、今まで絶対教えてくれなかった勉強を教えてくれるようになったり、誕生日プレゼントまで買って送ってくれたり、最近では僕に高校のこととかを教えてくれたり、僕が高校に関して不安があるときは相談に乗ってくれたりするようになりました。これまで兄に優しくされたことはほぼなかったので疑問に思い、僕はなぜ兄が優しくなったのか考えてみました。まず考えたのは「ホームシック」です。しかしあの無愛想で無口な兄に限ってそんなことになるとは思いません。兄が3年前に島を出てから会うのが年に2~3回になりましたが多分そのことに関しては喜んでいてと思います。そんな兄です。

次に考えたのは誰かに何かをいわれたか？です。でも変なところで頑固な兄に限ってそんな見ず知らずの人や会ったばかりの人、ましてや父や母に言われたところで直すとは考えられません。他にも兄がなぜ優しくなったのか色々考えましたが、それらしい理由は見当たりませんでした。結局兄がなぜ優しくなったのかは謎のままでしたが、僕は今の兄との関係は3年前と比べると、とても良いものだと思います。僕は兄が島を出てから兄の存在の大切さに気づきました。それに、今の兄は好きとまではいかないですが、嫌いではないです。でもまだ多分お互いに嫌いな部分もあるとは思いますが、これから先、お互いに助け合ったり、喧嘩などもたくさんしながら、良い兄弟関係を作っていけるようにしたいです。